

比売火懸の森



おそらししい
ひめかけの森
のらわれる

「神阿陀津比売と比売火懸の森」

- **阿陀比売（あだひめ）** 神社の本殿は江戸時代前期に建てられ、五條市指定文化財第1号となりました。
- 安産の神様として人々に受けつがれています。
- 神社の東には「**比売火懸（ひめひかけ）**」の**森**があり、神社にまつられている**神阿陀津比売（かむあだつひめ）**が夫の疑いをはらすために、**火の中で元気な3人の子供たちを産んだ**という言い伝えがあります。

阿陀比売神社写真→

（あだひめじんじゃ）



「へその緒と湯あみ」

- 比売火懸の森で子供たちを生んだあと、へその緒を竹べらで切り、それを捨てた場所が竹垣内と言われています。
- 生まれたばかりの、3人の赤ちゃんを湯あみ（お風呂に入れること）したところが阿陀火売神社の北側にあるそうです。

比売火懸けの森の写真→



九州にもあった「阿多」

- 九州にも「阿太」と似た読み方の町「阿多」があります。鹿児島県さつま市金峰町の阿多は木花咲耶姫（このはなさくやひめ）（神阿陀津比売）とその子どもたち海幸彦（うみさちひこ）・山幸彦（やまさちひこ）が祭られています。

- 鹿児島→



「比売火懸の森へ行って」

- 比売火懸の森は入ると「**呪われる**」という言い伝えがあります。私は、そこを近道だからといって、入ってしまったことがあります。入って、下に何かがあったので座り込んで見ていると**後ろから誰かに、肩をつかまれたような気がして、**とっさに振り返って後ろを見てみると、**そこには誰もいませんでした。**怖くなって走って逃げました。もう一度後ろを見てみるとやっぱり、そこには**人影なんて1つもありませんでした。**

このお話は、私が本当に経験したことです。みなさんも、くれぐれもお気をつけてください。

作成者：S.A.